

令和6年度 英語学習実施状況について

金沢市立小坂小学校

小学6年生 英語学習についてのアンケート(令和7年1月実施) (%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	49.0	37.0	9.0	6.0	0.0
問2	英語の勉強は大切だ。	71.0	19.0	8.0	2.0	0.0
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に 役立っている。	28.0	56.0	13.0	4.0	0.0
問4	英語の授業の内容が分かる。	72.0	22.0	6.0	1.0	0.0
問5	先生や友達に英語で質問することができる。	32.0	49.0	15.0	4.0	0.0
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答えるこ とができる。	36.0	45.0	15.0	4.0	0.0
問7	アルファベットの大文字が書ける。	89.0	9.0	1.0	1.0	0.0
問8	アルファベットの小文字が書ける。	89.0	9.0	1.0	1.0	0.0
問9	教科書やピクチャーディクショナリ - の単語 や英文を書き写すことができる。	76.0	17.0	5.0	2.0	0.0
問10	教科書の単語や英文を読むことができる。	37.0	47.0	12.0	6.0	0.0

指導改善の具体策

- ・「英語の勉強は大切だ」という質問項目に対して肯定的な回答をしている児童の割合は90%とかなり高い。なんとなくそう思っているだけでなく、英語の大切さを実感させるために、「英語が伝わった!」「伝わるとうれしい!」と感じることができるようなペア活動などを積極的に取り入れていく。今年度は学んだことを活用する場として、北鳴中学校のALTの先生との授業を設定したい。
 - ・多くの児童はアルファベットの大文字と小文字の形は理解しているが、4線の上に書くとうまく位置がずれてしまう児童も見られる。教科書やマイピクチャーディクショナリーの単語や文を書き写す活動を取り入れるときは、4線を意識するような声かけを継続して行っていく。

学校関係者評価

- ・「英語の勉強が好きだ」「英語の勉強は大切だ」という質問項目に対して、肯定的な回答をしている割合が高い。このことから、英語の大切さを理解した上で前向きに授業に取り組む児童が多いことが分かる。一方で、学習内容が難しくなったことで英語が嫌いになってきている児童も見られる。中学校英語にスムーズにつなげるためにも、英語が苦手な児童も前向きに参加できるような活動を工夫してほしい。
 - ・「英語の授業の内容が分かる」という質問項目に対して、肯定的な回答をしている割合が94%と高い。苦手な児童に対しての配慮も必要であるが、得意な児童がさらに力を伸ばせるような授業展開を工夫していくことに取り組むのもいいのではないか。(ターゲットセンテンスや既習の単語が含まれている映画や歌を英語のまま聞かせ、聞き取ることができたことを実感させるなど、学習したことが身近なもので確認できる体験ができるといい)